

# ネイチャーセンターだより



## 8月のみどころ



### 【上旬】

秋の渡りが始まり、風蓮湖の干潟ではキョウジョシギやトウネン、アジサシなどの姿が見られるようになります。また、初秋の花である、オオウバユリやウンラン、エゾオグルマ、ハンゴンソウなどが楽しめます。自然学習林ではルリイトトンボという鮮やかな青色をしたトンボが見られ、時々蚊やハゴロモといった小さい昆虫をフライングキャッチする姿が見られます。



捕まえたハゴロモを食べるルリイトトンボ



ハマシギ

### 【下旬】

シギやチドリの種類がさらに増え、干潟はとても賑やかになります。風蓮湖周辺の湿地ではルリボシヤンマがものすごい速さで飛ぶ姿が見られます。また、ネイチャーセンター周辺ではコサメビタキのヒナが巣立ち、幼鳥を見かけるようになります。運が良ければ、ネイチャーセンターのすぐ目の前でエサ獲りの練習をする姿も見られます。

### おすすめスポット

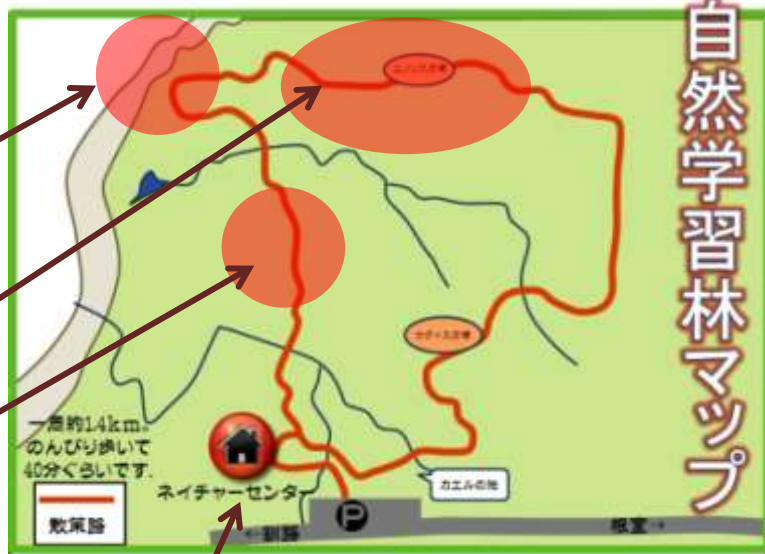
東梅岬からはオジロワシが見られることもあります。



アカゲラの開けた食痕が見つかります。



エゾトリカブトやキツリフネなどの花が咲きます。



### 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

# トピックス

## チョウを探るときはまず植物から

根室にはミヤマカラスアゲハやクジャクチョウなど、美しいチョウがたくさん生息しています。また、カラフトリシジミというとても希少なチョウも生息しています。これらチョウの仲間は種類ごとに見られる場所が異なり、闇雲に探してもなかなか見つかりません。



美しい翅を持つミヤマカラスアゲハ

チョウの生息地がある程度限られている主な理由の一つは、幼虫時代の食性にあります。例えば、シロチョウの仲間ならアブラナ科、アゲハの仲間ならミカン科（※一部例外あり）、といったようにチョウのほとんどは、幼虫時代に食べることができる植物の種類がある程度決まっています。つまり、チョウの生息地はその植物の分布によって左右されるのです。

実は、このチョウによる食性の違いを利用すれば、チョウ探しもだいぶ楽になります。例えば、ミカン科のキハダの近くに行くと、ミヤマカラスアゲハが飛んでいるのを見かけます。また、最初に挙げたカラフトリシジミの幼虫は植物のえり好みが強くて、ガンコウラン、コケモモ、クロマメノキといった限られた植物しか食べません。そのため、これらの植物を見つけることができれば、カラフトリシジミに出会える確率が高くなります。

もし、目当てのチョウが見つからないときは、ためしにそのチョウが食べる植物をあらかじめ図鑑などで調べ、分布している場所を探しておいてはいかがでしょうか。チョウの好みが強ければ強いほど見つけやすくなるはずですよ。

## 春国岱クイズ

秋になると赤く紅葉し春国岱の湿地を綺麗に彩るアッケシソウ。このアッケシソウ、紅葉する前はどんな色をしているのでしょうか？（A、Bの中から答えを選んでください。）  
ヒント：風連湖周辺の塩分の強い湿地にちいさなアッケシソウが顔を出しています。



紅葉したアッケシソウ

- A. 緑色                      B. 茶色

答えは次号に掲載します。（先月号の答え…A）

## いきもの図鑑



英名 Cinnamon Sparrow    学名 *Passer rutilans*

ニユウナイスズメ（スズメ科）  
見かける機会が少ないスズメの一種です。普段見かけるスズメとは、ほおの模様が違います。スズメのほおには黒い斑がありますが、ニユウナイスズメにはありません。生息環境も違い、スズメほど民家の近くにはおらず、春国岱第2砂丘や北方原生花園など、少し人里離れた場所を好みます。



# レポート

## 夏の春国岱写真撮影教室

6月29日、春国岱でセンダイハギやハマナスなど夏を代表する動植物や風景を楽しみながら写真の撮影技術を学ぶ「夏の春国岱写真撮影教室」を開催しました。

はじめに、レンジャーからその時期に見られる春国岱の景色と動植物の紹介をした後、講師の本川先生（写団ねむる代表）から、構図やしぼりなど写真撮影の基本について教えていただきました。

座学の後、参加者の皆さんと春国岱へ行き、講師の先生方の指導を受けながら、思い思いの作品を撮影しました。熱心に撮影をした中からお気に入りの一枚を選んでいただき、それぞれの作品について講師の先生方に講評していただきました。講師からは、撮影対象の配置についてや、ピントをどこに当てるのが適切だったかなどのアドバイスをいただきました。



## レンジャー日記

7月初旬の夕方、春国岱の駐車場にたくさんのショウドウツバメが舞い降りていました。最初は車に驚いて一斉に飛び立ったのですが、車の中から静かに見ていると、すぐに地面に降りてきました。しきりに何かをついばんでいたのがエサでも捕まえているのかと思ったのですが、双眼鏡でよく見たところ、枯草を拾い上げたり、貝殻の破片や小石をくわえてみたりしていました。巣材として運んでいくわけでもなく何をしているのかは分かりませんが、5mほどの距離で可愛い姿をゆっくり見ることができました。 【記：レンジャー手嶋】



## NEWS

### ※重要なお知らせ

8月中は春国岱橋の補修工事のため、春国岱が利用できません。

■期間：平成25年7月16日～8月31日

大変ご迷惑をおかけいたします。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、春国岱ネイチャーセンターと自然学習林は工事期間中も通常通りご利用いただけます。



※ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）でお送りしています。経費削減のためメール配信にご変更いただける方は、春国岱ネイチャーセンターにお名前とメールアドレスをご連絡ください。ご協力をお願いいたします。 春国岱ネイチャーセンター：nemu\_nc@marimo.or.jp

# 行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
8/4（日） 9:00～12:00	<b>海辺の生き物観察会</b> 春国岱周辺にある干潟や磯場で海辺に歩いて行って、そこに住む生き物を捕まえて観察します。※つかまえた生物は観察後に放します。	100 円	定員 20 名（先着） 8/2 までにお申込みください 対象：小学生以上（小学生は保護者同伴） 持ち物：長靴、帽子、着替え、軍手、あればタモ網、バケツ
8/31（土）まで 9:00～17:00	<b>クラフトコーナー</b> 春国岱周辺などで集めた貝殻や木の実などを使って工作ができます。材料はネイチャーセンターでも用意していますが、使いたい材料がありましたらお持ちください。	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご覧いただけます。
8/5～8/31 9:00～17:00	<b>イラスト展</b> <b>うしさん（なまはんか）野鳥観察記</b> <b>～マンガで見る根室の夏の野鳥～</b> 根室の身近な夏鳥についてネイチャーイラストレーターの「うしさん」（松下和江さん）が4コマ漫画でおもしろおかしく紹介してくれます。	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご覧いただけます。

## ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループスunkと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。

レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。

いつからでも、経験がなくてもはじめることができます。気軽にお問合せください。

◆対象：高校生以上

◆会費・保険料（年間）：

フィールドボランティア 300 円

ボランティアグループスunk 1500 円

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



### 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆8月の休館日：7, 14, 21, 28日

◆8月の開館時間：9:00～17:00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。（要 事前申込）